

ホソハリカメムシ

成虫は年2回出現し、畦畔、土手などの雑草の下で、成虫越冬する。

5月頃から出現し、イネ科雑草で生活する。よく飛翔し、イネが出穂すると水田にも侵入して繁殖・加害する。

成虫は体長9～11mm、体色は全体暗褐色、前胸部の両端がとげ状に突出している。

防除は、周辺のイネ科雑草の管理と本田内での薬剤防除が主体となる。詳細は（「斑点米カメムシの防除対策について」）参照。



写真 ホソハリカメムシ成虫